![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　平成３０年６月号（20180615）

園長　平澤　正則

園行事参加へのお願い

―　自分の子どもだけでなく同時によその子どもとも一緒に親が活動すること

により子どもたちがより多くを学べる機会，これを大切にしましょう　―

　行事とはなにか，どういう目的のものかということですが，一言でいえば教育課程の一つ，つまり，幼稚園等で子どもたちにする教育の方法の一つであるということです。学校では算数や国語などの学習だけが教育と呼ばれるものではなく，行事である文化祭や体育祭，修学旅行なども生徒たちに様々なものを学ばせる機会として重要な役割を果たしていることは保護者の皆様も記憶にあるところだろうと思います。

　行事には園児だけで行うものと保護者や家族と一緒に行うものなどいくつかの形態があります。本園の例でいえば，園児だけで行うものには観劇，合唱祭，お泊り会，芋掘りなどの園外保育があり，保護者や家族がその一部を一緒に行うものでは納涼会，文化祭，クリスマス発表会などがあります。また，家族遠足や保育参観，高齢者施設訪問，空港見学などは保護者や地域の大人と一緒ということを前提として企画されています。入園式や卒園式などは保護者がいなければできないという性格のものでは本来ありませんが，本園では保護者のご協力を得ながら式のかたちをつくっております。とは言うものの，園児だけでできるものであるとかそうでないとかの線引きはむずかしく，極端にいえば園児だけで成り立つものなどなく，必ず近くの大人が指導や助言をとおして関与しているわけです。このように，行事への大人の関与のあり方は様々ですが，それぞれにねらいがあり，それら一つ一つを1年間積み重ねながら，1年間をとおして教育のねらいを達成しようとするものです。もちろん，園児相互の刺激も欠かせない成長の要素です。これについては大人の願いどおりにならないことも多々あり，それがあたりまえの流れでもあるわけなので，その時々に私たち身近にいる大人がよりよい社会性を身に付けさせるべく適切に関与しながらその摩擦の中で生きる知恵を育ませていけばいいことだと考えています。

　幼児の発達段階等を考えれば，保護者と一緒，先生と一緒の活動が多くなるのは必然であり，子どもだけでやる，やらせるよりも大人と一緒にやる方がより多くの効果を得られる場合もあるので保護者の皆様の参加をお願いすることがあるわけです。と，このように園長が言ったからといって，本園が危機的な状態にあるというわけではないというのはおわかりでしょうが，園の基本的な考えを一応知っていてほしいと思い記しました。保護者の皆様にも様々な事情がありすべて本園の望むとおりに行事に参加できるものではないと承知しておりますが，今まで述べたようなわけで，よりよい教育を提供するためにねらいに応じたお声掛けをしておりますので，一層のご協力をお願いする次第です。